



自ら考え創造する力

人々の生活を豊かに変えた研究が、高く評価されました。

スウェーデン王立科学アカデミーは10月9日、2019年のノーベル化学賞を、リチウムイオン電池を開発した旭化成の吉野彰（よしの・あきら）旭化成名誉フェロー（71歳）ら3人に授与すると発表しました。「リチウムイオン電池」は軽量かつ高出力で、充電して繰り返し使えます。スマートフォンやノートパソコン、電気自動車などの広く使われています。化石燃料に頼らない社会の実現に欠かせない技術になっています。さて、吉野さんの記事に目を通すと1冊の本で化学に出会ったそうです。吉野さんが育ったのは大阪府吹田市です。小学校4年生のとき新任の女性の先生が1冊の本を薦めてくれたのが、19世紀に活躍した英国の科学者ファラデーの「ロウソクの科学」でした。「ロウソクはなぜ燃えるのか、炎はなぜ黄色いのか・・・」「なぜ」に答える化学の世界への関心がかき立てられました。この頃から子ども向けの科学雑誌を読みあさり、トイレ洗浄用のくぎを入れて水素を発生させるといった「実験」もしました。「セミやトンボ、沢ガニがなぜ夏が過ぎるとみんななくなるのか」と疑問を持ち、水たまりの石垣の奥に隠れた沢ガニを発見して「冬を過ごす準備をしているんだ」と気づいたこともあったそうです。吉野さんは、「好奇心から調べたり、考えたりするのが原点。面倒くさがらずに素朴な疑問を突き詰めて行くことが大切。それが次の好奇心につながっていく」と語っています。長い年月を諦めることなく、粘り強く研究と向き合った成果でした。



（読売新聞から引用）



今、日本は「創造性の時代」に入っています。高度成長時代を経て、日常生活や社会生活を営むためのシステムが整備されてきました。その結果、たいいていのことは定められたマニュアルに従うか、前例を参考にすれば解決できることが多く、「人間が考えなくてもAIがやってくれる時代」に突入しました。しかし、現在の日本では、経済・政治・医療・産業などあらゆる分野で、これまでのマニュアルでは解決できない問題が山積みされています。

あの東大生が大学入学直後に直面する戸惑いは、長く深く考えることだそうです。高校までのマニュアル的学習法、すなわち、一通りに答えが決まっている問題を短期間に要領よく学ぶ勉強法は抜群で優秀です。しかし、同じテーマについて「長く深く考える」ことは得意ではないそうです。優秀さの尺度が「マニュアル力」から「考える力」へ変化しています。さらに実社会へ出て直面する難題は、与えられた課題を解くことだけではなく、新たな課題を発見したり、独創的なアイデアを生み出さなければならぬことに突然気づかされることです。与えられた問題を解くことができても、新しい問題や独創的なアイデアを見つける方法を学習しておらず絶望してしまう現状があります。

この社会の状況に対応するためには、本当の意味での「考える力」を鍛え、「創造する力」を身につけることが必要です。そして、納得がいくまでとことん考え続ける「諦めない力」も必要になってきます。

何気なく考えていることの中から、問題の種を見つけ出すこと。私たちは無意識のうちに、何かを考えています。「気になる」「おもしろそう」「どうしてだろう」と言った感覚的なものを大切にしてほしいと思います。新学習指導要領では、「思考力・判断力・表現力等の育成」が予測が困難な未来を切り開いていくために必要な力として重要視されています。そして、各教科では「主体的・対話的で深い学び」をキーワードとして授業改善を進めています。具体的には、班活動など少人数による対話による「話し合い活動」を多く取り入れ、生徒自らが課題発見をして、解決していく授業方法を進めています。また、ICT機器を活用して、誰にでもわかりやすく発表できる表現力を身につけています。

心豊かな充実した秋にするためにも、図書館や書店に行ってよい本と会いましょう。そして、どっぴりと本の世界に入ってほしいと思います。何の分野でも好きなものから入ってみましょう。きっと興味深い一冊が見つかることでしょう。吉野さんのように、人生を変える本と出会うかもしれません。読書は、『感性を磨き、表現力を高め、創造力を豊かにする』心の栄養になります。

明るく元気で楽しい修学旅行

3年生は、10月3日(木)～5日(土)に奈良・京都へ2泊3日の修学旅行へ出かけました。日本を代表する長い歴史に培われた伝統・文化の宝庫に外国人観光客の方々も多く来日されて賑わっていました。当日は、事前学習で調べたり発表したりした知識で、班行動を通して、現地で「見る」「聞く」「触れる」「歩く」「味わう」などの体験を通して深く学びました。1日目の奈良公園では、小雨が降りましたが、東大寺の大仏や鹿たちと対面して感動しました。2日目は、京都市内を公共交通を使い全日班行動。チームワークを深め、よく考えて行動して最後までやり抜きました。3日目、半日タクシーでの班行動は、運転手さんのわかりやすいガイドで京都市内を安全に観光することができました。



出発から解散まで、田柄中学校の生徒として「誇り」を持ち、「品性」のある行動をとりました。時間を守る、声を出してあいさつをするなど。礼儀作法は日頃から身につけている行動が光りました。また、「感謝」の気持ちを忘れずにお世話になった方々へ「ありがとうございました」と自然と言える生徒がたくさんいました。友だちと明るく仲良く、病気やケガがなく健康・安全で過ごせたこと。そして、奈良・京都でしか味わえない歴史と文化に触れ、いっそう成長して充実した修学旅行でした。

実行委員として活躍した生徒をはじめ、自分たちで作上げた修学旅行が成功に終わりました。保護者の皆様には、1年生時からの準備にご理解とご協力をいただきました。ありがとうございました。

部活動・生徒活動の記録

(敬称略)

男子バスケット部	第72回練馬区民体育大会 バスケットボール競技 男子の部 優勝	
水泳部	第67回東京都中学校学年別水泳競技大会 第6位 佐藤 宇宙 3年男子50m自由形 25秒52 第72回練馬区民大会水泳競技 第2位 佐藤宇宙 100m自由形 50秒05 第1位 200mフリーリレー 第67回東京都中学校学年別水泳競技大会 第1位 中川 雅嗣 200m個人メドレー 2分15秒01	
卓球部	習志野市長杯近隣中学校卓球大会 女子の部 第3位 第72回練馬区民大会卓球競技 女子団体 優勝 男子団体 第3位 女子シングルス 優勝 本橋 乃々華、第3位 新村 心椰 第5位 小野 未琥、第5位 堀 桜子	
連合陸上	練馬区中学校連合陸上大会 総合 13位 第2位 安松 辰 1年男子100mh 18秒30 第3位 市川 翔太 1,2年男子砲丸投 9m00 第4位 加藤 文音 3年女子砲丸投 7m63 第4位 橋本 真依 1,2年女子走高跳 1m30 第4位 野口 梨雄 2年男子100m 12秒1 第6位 工藤 朱美 1年女子100mh 19秒38 第6位 鈴木 麻友 2年女子走幅跳 4m19 第7位 本間 詩乃 共通女子1500m 5分43秒09 第7位 須藤 美夏子 3年女子走幅跳 4m45	
陸上部	第72回練馬区民大会 中学生の部 優勝 女子走り幅跳び 鈴木 麻友 4m44cm 優勝 男子2年100m 野口 梨雄 12秒03 第2位 女子2年800m 橋本 麻依 2分44秒07 第2位 男子4×100mリレー (谷本・横山・鈴木・野口) 49秒22 第3位 女子1年100m 小野田 海咲 14秒46 第3位 女子2年800m 本間 詩乃 2分47秒09 第3位 男子2年100m 横山 慎之介 12秒55 第3位 男子1年100m 種市 聡太 13秒66 第3位 女子4×100mリレー (橋本・小野田・工藤・鈴木) 56秒87	
剣道部	男子団体の部 第3ブロック大会の結果 東京都大会出場権獲得	